

生活科・総合特論

科目ナンバリング ESS-409
選択 2単位

佐野 匡

1. 授業の概要(ねらい)

小学校の総合的な学習の時間および生活科を指導するために必要な知識、技能の専門性を高めるために以下の内容を扱います。

・総合的な学習の時間および生活科の教育課程上の位置づけを再確認し、そこから総合学習および生活科の特質を整理する。

・学習活動のつくり方、授業のあり方、実践事例を学ぶ。

・国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題、地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題などから教材作成の単元・テーマを定めて教材開発を行う。

特に総合的な学習の時間では、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習、探究的な活動を行うことから、教科の枠にとられない授業づくりについて、演習的に学びます。

2. 授業の到達目標

本科目を通して以下の目標に到達することをめざします。

・総合的な学習の時間および生活科を指導するために必要な知識を整理し、技能の習得をする。

・総合的な学習の時間および生活科の成立の背景を確認し、そこから教科・時間の特質を述べることができる。

・実践事例を学び、学習活動のつくり方、授業のあり方について考察することができる。

・独自の教材を作成することができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業・グループ活動への参加状況30%、教材研究・模擬授業30%、試験40%

4. 教科書・参考文献

教科書

小学校学習指導要領解説 生活科編・総合的な学習の時間編

参考文献

美谷島 正義 和田 孝 [解説]実践 総合的な学習の時間の指導法 開隆堂

5. 準備学修の内容

模擬授業やグループワーク、フィールドワークなど多くの演習があります。積極的な参加を期待しています。

6. その他履修上の注意事項

履修者数によっては展開予定を変更することがあります。

フィールドワークの際には、学外での授業となることもあります。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション 教育課程上の位置づけ
- 【第2回】 生活科・総合的な学習の時間の特質の整理
- 【第3回】 教材研究の方法・外部連携
- 【第4回】 実践事例研究1
- 【第5回】 実践事例研究2
- 【第6回】 実践事例研究報告
- 【第7回】 授業を構想する―展開計画を作成する―
- 【第8回】 外部連携・フィールドワーク1
- 【第9回】 外部連携・フィールドワーク2
- 【第10回】 授業を構想する2―授業を構想する―
- 【第11回】 模擬授業・検討会1
- 【第12回】 模擬授業・検討会2
- 【第13回】 模擬授業・検討会3
- 【第14回】 ふりかえり：他教科との合科・関連と独自性(オンライン)
- 【第15回】 課題の整理